

財源論 説明尽くさず

防衛・少子化で言及なし 波乱含み

岸田文雄首相は施政方針演説で、防衛力強化や少子化対策に意欲を表明した。積極的財政政策の説明不足が指摘されており、国会論戦は不可避。首相も論戦を通じて国民の理解を期待する。だが演説では、財源論を深める材料は不足。野党は世界平和統一家庭連合（旧統一教会）問題でも政権を揺るがせる。統一地方選を控え、連帯国会は波乱含みの幕開けとなった。●面参照

首相施政方針演説



「決断した方針、決断を形にした予算案・法案について国民の前で正々堂々議論し、実行に移す」。二十三日の衆参両院本会議。首相は演説冒頭で「決断」と五回も繰り返して「検討も決断も議論も全て重要だ」と強調した。

「就任以来「検討する」との姿勢を重んじて「検討使」ともゆき、昨年十二月に決定した防衛力強化や原発活用の方針は「国民に説明がなく唐突だ」（野党幹

| | |
|-----------|--|
| 2月中 | 日銀の黒田東彦総裁の後任人事案を国会提示 |
| 28日 | 自民党大会 |
| 3月下旬 | 2023年度予算成立 |
| 4月1日 | こども家庭庁発足。同庁を中心として少子化対策を強化。骨太方針も策定の6月までに将来的な子連帯予算案の方向性を示す |
| 8日 | 黒田氏任期満了 |
| 9日 | 統一地方選前半戦 |
| 23日 | 統一選後半戦。衆院千葉5区、和歌山1区、山口2、4区の補欠選挙 |
| 5月19日～21日 | 広島市で先進7カ国首脳会議（G7広島サミット） |
| 6月21日 | 通常国会会期末 |
| 9月30日 | 岸田文雄首相の自民党総裁任期満了まで1年 |
| 10月4日 | 岸田政権発足2年 |

岸田首相が23日午後、国会で施政方針演説をする。前列左から、菅義偉首相、野田聖子副首相、岸田文雄首相（手前）＝23日午後、国会



登壇者はマスクなし 3年ぶり

二十三日の衆参両院本会議では、岸田文雄首相の施政方針演説など政府四演説が約三年ぶりにノーマスク姿で行われた。与野党は新型コロナウイルスの感染が拡大した二〇二〇年四月に議場内での着用を申し合わせた。政府が今春に感染症法上の分類を見直す点も踏まえ、今国会から登壇者の着用は不要とした。衆院本会議場の演壇前には飛沫防止のため高さ百七十センチの大型アクリル板を設置。登壇した首相がマスクを外す際、笑みを見せる一幕もあった。参院ではアクリル板も設置できない。ただ、衆参とも閣僚席や議員席では引き続きマスク着用を続ける。

所得税・たばこ税の増税方針を決めている。にもかかわらず、毎年度必要な財源四兆田のうち行財政改革で足りない約四分の一は「毎来世代への責任として対応する」と説明しただけだ。

自民党内に異論が根強い。ため言及しなかったのは「増税」の言葉を避ける。立憲民主党の泉健太代表は中途半端な説明に「増税隠しだ」と批判した。

政権幹部は「統一地方選を前に、負担増の話はしづらい」と漏らす。脱炭素に向けたGX（グリーン・トランスフォーメーション）政策については「脱炭素、エネルギー安定供給、経済成長を同時に実現する一石二鳥」と訴えた。一方、演説は「福島原発の復興」こそ挙げたものの「東京電力福島第一原発事故」の言葉がなかった。事故の観点から、次世代型原発の開発・建設を進める施策への説明を求める声には応えていない。

野党は国会初日から率先を向けた。「頼むらしたまま議長席に座れるのか」。立憲の安住淳国対委員長は、教団側との接点の説明をA4判二枚紙で終わらせようとした。細田博之衆院議長に対して、再説明を要求。回答次第で、施政方針演説の予定を遅らせる構えをちらつかせた。

年頭記者会見から重点政策に掲げた「次元の異なる少子化対策」では「子どもファーストの経済社会をつくる」「将来的な子ども子育て予算倍増」と威勢よく打ち出した。半面、国民の負担については「社会全体でどのように支える

「政治姿勢」として教団問題などに言及したのに比べ、矮小化を意図したように映る。被害者救済法は触れられず、政治とカネ、閣僚辞任下ミに具体的言及はない。

「頼むらしたまま議長席に座れるのか」。立憲の安住淳国対委員長は、教団側との接点の説明をA4判二枚紙で終わらせようとした。細田博之衆院議長に対して、再説明を要求。回答次第で、施政方針演説の予定を遅らせる構えをちらつかせた。

日本維新の会の仲介案により、二十四日に衆院議院運営委員会の理事と議長公邸で面会し、冒頭のみ取材公開すること折り合った。ただ細田氏の説明次第

で、問題を引きずるのは必ず至らぬ。

一方月後には統一地方選が始まり、四月には衆院補欠選挙も見込まれる。立憲幹部は手はずを引く。「教団問題を再燃させる。防衛、原発、中身が見えない少子化対策。攻め手は幾つもある」

頼むらしたまま

「頼むらしたまま議長席に座れるのか」。立憲の安住淳国対委員長は、教団側との接点の説明をA4判二枚紙で終わらせようとした。細田博之衆院議長に対して、再説明を要求。回答次第で、施政方針演説の予定を遅らせる構えをちらつかせた。